

立教186年

9月号
第612号



発行所

天理教宇仁大教会
〒677-0015 西脇市西脇770-4
電話 0795(22)4066番
FAX 0795(22)4072番
unigrandchurch@yahoo.co.jp

大教会創立百三十周年記念大会 10月29日



ウーバーバンド 金賞受賞 14回目



散歩道

今年のお盆は、真只中に台風が直撃したため、多くの帰省者に影響を及ぼした。「計画運休」という新語が出来て久しいが、十五日の東海道線は終日全線運休と早くに発表されたので、さほどの混乱はなかったようである。それでも新大阪駅で戸惑っている若者がテレビに映っていた。今時の若者ならスマホとかで確認しないのかと、奇異なものを見るような気がした。

▼ケ タイが普及する以前なら、情報を知らずに駅構内に人が殺到するというニュースをよく目にした。その頃に比べたら、今は瞬時に知りたい情報がキャッチできるので、助かる人も多いことと思う。

▼それでも今回は翌々日まで新幹線のダイヤが乱れ、各駅は大混雑して「新幹線ホテル」や「夜行新幹線」などという新語が生まれた。これらの新語もスマホによって瞬く間に拡散していく。できるなら、人が困っている姿を話題にせずに、人をたすけるための情報を流して行きたいものである。

一 理 塚

この月は秋の霊祭月でありま
す。霊祭は今更言うまでもあり
ませんが、元 日のいんねんを
思案させて頂き、先祖のお通り

下された苦勞のおかげで今日の
御守護を頂いていることに感謝
し、尚一層勇んで親神様の思召
しに沿い成人の道を歩ませて頂
く決意をさせて頂く節目である
と思わせて頂きます。昔から
「暑さ、寒さも彼岸まで」と言

われており、この好季節に多く
の人たちはお墓参りをします。
仏教の教えでは、その意味は
つあるようです。つは此岸
と呼ばれる現世であるこの世か
ら、彼岸と呼ばれる仏の世界、
あの世に極楽往生することを祈
願すること。もう つは、死者
の来世における安樂を祈り霊を
慰めることにあるようです。天
理教でも、春と秋の彼岸に合わ
せて霊祭をとめますが、教祖
はこのことについて、直接的に
何も教えられていないそうです。
ただ、親神様が人間を創造され

てから、成人の過程で知恵や文
字の仕込みによって、仏教が生
まれ、日本古来の風習文化が生
まれました。それで天理教でも、
彼岸の春と秋に霊祭をとめさ
せて頂くのですが、ただ、極楽
浄土も彼岸もありません。

教祖は「みかぐらうた」の中
で、「ここはこの世の極楽や、
わしも早々参りたい」と唄われ
ました。今、生きているこの世
界に於て、極楽のような暮らし
方が出来る人もいれば、地獄の
ような暮らしを強いられる人も
います。その つの暮らし方を
大きく左右するのが、徳がある
のか、ないのか、日頃の暮らし
の中で徳を積んでいるのか、徳
を減らしているのかの違いであ
ります。先祖を尊び、敬うこと
は、徳積みのひとつであり、こ
のことを疎かにすると、徳を減
らし、運命も悪くなっていくと
聞かせて頂きます。

以前、「輝け！お寺の掲示板
大賞」に、「おまえも死ぬぞ 釈
尊」というお寺の掲示板が選ば
れました。この言葉について次の
ようなコメントが投稿されていま

す。自分もいつかは死すべき存
在である、ということの日頃私た
ちは忘れてしまいがちな世の中
です。釈尊の教えを伝えるとされる
原始仏典『サヌッタカーヤ』
の中では、「生まれたものが死な
ないということはありません」

(中村元訳『ブッダ悪魔との対話』
より)と記されています。この文
言を書かれた住職はそれを直接
的な物言いにしたのだと思われま
す。アップル社の共同設立者の
一人、スティーブ・ジョブズさん
が、亡くなる ○ 一年の六年
前にスタンフォード大学の卒業
式で行ったスピーチは有名です。
若いときから、座禅を行い、仏
教に関心を抱いていたジョブズさ
んは、このときすでに癌に侵され
ていました。卒業式の壇上で、
一七歳のとき目にした本の言葉
を紹介しています。「毎日、これ
が人生最後の日と思って生きて
みなさい。そうすればいつかそれ
が正しいとわかる日がくるだろう」

超覚寺(広島)
天理教には「一日生涯」とい
う言葉があります。「日の日
に生涯の理を定め」明治一七・

・五)「一日のをさまりは末
代のをさまりともいふ」(明治
・九・一五)単なる 日の
ための 日ではいけない。それ
は永遠、生涯、末代に通ずる
日でなければいけない(天理教
用語辞典)

そこには親神様の懐で未来永
劫に生かされているという温か
さが感じられます。愉達第四号
に「先人はひながたを心の頼り
として懸命に通じ、私たちへと
つないで下さった。その信仰を
受け継ぎ、親から子、子から孫
へと引き継いでいく 歩 歩の
積み重ねが、末代へと続く道と
なるのである。」と述べられて
おります。陽気ぐらしの教えを
親から子へ、子から孫へと家族
にしっかりと伝えていくことも
外へのをいかけと同じように
大きなをいかけになるという
こと(出て救けるも内々で救け
るも同じ理 明治 十六年六月
十九日 おさしづ)なのです。
今月は「にをいかけ強調の月」、
合わせて「全教一斉にをいかけ
デ」も実施されます。勇んで
つとめさせて頂きましょう。

『宇仁会報に見る大教会史』 第83回

⑤ 創立100周年

(27)

話は少し戻るが、平成五年月号（二四四号）の年頭挨拶で、大教会長は、まず本年十月二十九日に創立百周年記念祭をとめさせて頂く事を打ち出され、それに続いて次のように述べられている。

「私たちは常日頃忙しい忙しいと言って毎日つとめさせて頂いています。しかしながらそれだけ忙しくつとめているにも拘らず、つとめの上の実績はそれにともなっていないような気も致します。私たちは忙しくつとめていけば、いづれは御守護があるように思われていますが、はたしてそうでしょうか？ 自分中心の自分勝手の自分の事を生懸命つとめていても、それは神様に受け取ってもらえません。それは自己中心ではなく、あくまでも教組のひながたを心としてつとめなければならぬと思

います。なぜならば、この世は親神様のおはたらきの世界なので、私たちがこの事をよく反省して、神様に受け取ってもらえるような、親の声を頼りにつとめさせてもらねば申し訳ないと思うのであります。」

さらに 月号では、一月十五日の大教会春季大祭で「宇仁に繋がる全ようぼくが 手一つで百周年に取り組ませて頂こう」と、力強く呼びかけられた。宇仁会報巻頭には、「とりわけ今年は百周年 色。明けても暮れても百周年で、その全容については 月の部内一斉巡教で明らかにされる」と記されている。

そして 月号では、「創立百周年に向かって、倍のつとめ、はたらきを」との大見出しではじまり、「一つのものなら つ、つのものなら九つというように、一倍のつとめ、はたらき。（中略）本当にその気になって真剣に取り組まねば」と訴えかけている。

ウーニーバンド

十四回目の

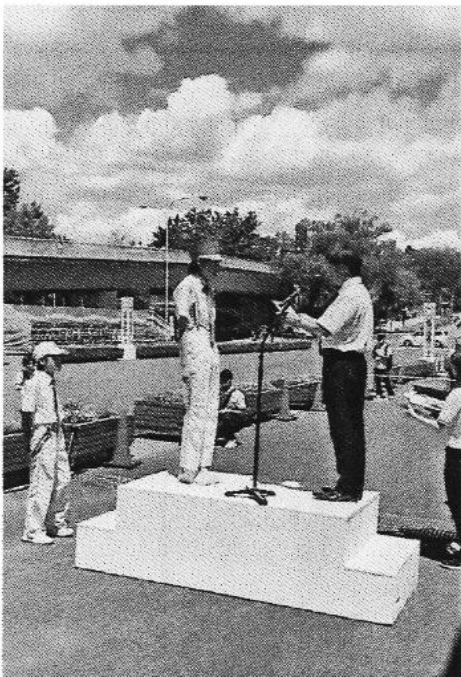
金賞を受賞！

去る八月四〜五日の両日、ウーニーバンドは四年ぶりに通常で開催されたこどもおぢばがえりに参加し、五日には鼓笛お供演奏とオンパレードに出演した。そしてオンパレードで見事十回連続十四度目の（年間の中止を挟んで）金賞を受賞した。

当日は十 隊中十一番目ということで、いわゆる「トリ」になったが、すべての審査員が合格点をつけるというウーニーバンド史上最高得点を獲得した。

お供演奏の後、一人の隊員が体調を崩して救護所に運ばれるというハプニングもあったが、何とかオンパレードには間に合い、十八名揃って出演にこぎつけ、少人数ながらも高評価をして頂いた。

スタッフもそれぞれ忙しい中、仕事やひのきしんを終えた後、夜中に合流したりで、皆の合力により今回も連続してゴールドをゲットさせて頂いた。





◎月例布教実動 布教部

『教祖のお供をさせて頂く日』

毎月15日 午後1時30分 大教会神殿集合

布教実動（戸別訪問）・ふりかえり

『親神様の神名を世界へ流す日』

毎月24日 午後1時30分頃 大教会神殿集合

神名流し（大教会周辺）

布教推進講話

『空を楽しむ』

日時 9月24日（日）大教会月次祭終了後

場所 大教会神殿

講師 山本 達則先生

大参分教会長 布教の家大阪寮副寮長



所感
少人数ではありましたが、こどもおぢばがえりのチラシを持ってポスティング、戸別訪問に西谷地区を歩かせて頂きました。久しぶりに出会う方もあり、ゆっくりお話することもできました。

◎和道分教会会場

布教日 七月 日

参加者数 名

会場 和田 西谷地区

布教内容 戸別訪問、ポスティング

『教祖と歩む三年千日』
教会布教実働報告

◎鍛冶屋分教会会場

教会月次祭の7月3日と16日に近隣で神名流しを行いました。また、毎月第3日曜日の午前9時より小学校区の集落で戸別訪問とポスティングを行っていましたが、7月は、鍛冶屋地区でポスティング後に鍛冶屋線記念館（旧JR鍛冶屋駅）周辺の草引きをしました。暑い日でしたが、気持ちのよい汗が流れました。（参加者 九名）



婦人会より

◇大教会炊事当番

9月 豊原

10月 神福A

11月 直属

よろしく

お願いします

宇仁大教会130周年記念祭

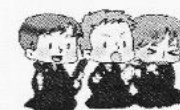
練習予定日 8～9月

鳴り物

9月 2日（土）13時30分

おてふり

9月30日（土）13時30分



「創立130周年記念大会」

10月29日（日）午前9時受付 10時開会

「いつも笑顔で たすけの輪を ひろげよう！」をスローガンにおてふりや鳴り物練習に励んできましたが、いよいよ来月29日に記念大会を迎えます。

大会は2部構成で、第1部はネクスト宇仁の皆さんによる「おつとめ」、第2部は豪華景品が当たるアタル！大抽選会。さらに飲み物や食べ物など模擬店出店と、お楽しみ行事となっています。

当日まで下記スケジュールに沿って準備が進められていきます。

おつとめ練習や準備ひのきしんに勤しみながら当日を迎えさせていただきますよう。

| 月 日 | 内 容 |
|---------|--------------------------|
| 8月 24日 | 記念大会全よふぼくへ案内発送 |
| 26日 | おかえり講話 詰所大広間 午後1時30分より |
| 27日 | おてふり練習 午後1時30分～3時30分 |
| 9月 2日 | 鳴り物練習 午後1時30分～3時30分 |
| 9日 | 母親講座 午前9時30分受付 10時開講 |
| 15日 | 役員会・実行委員会打ち合せ |
| 24日 | 9月大教会月次祭 布教講話 |
| | 月次祭終了後 記念大会各部係員打ち合せ |
| 26日 | 本部9月月次祭 登殿参拝 |
| 28日～30日 | 全教一斉にをいかけデー |
| 30日 | おてふり練習 午後1時30分～3時30分 |
| 10月 7日 | （多可支部例会） |
| 9日 | 婦人会例会 |
| 10日 | 記念大会事務所開き |
| 15日 | 役員会・実行委員会各部打ち合せ |
| 22日 | 総出ひのきしん |
| 24日 | 大教会秋季大祭 |
| | 月次祭終了後 記念大会各部係員打ち合せ |
| 26日 | 本部秋季大祭 |
| 27日 | 神殿前テント設営 |
| 28日 | 最終点検 |
| 29日 | 創立130周年記念大会 午前9時受付 10時開会 |
| 30日 | 御礼回り、後片付け |

九月

にをいがけ強調の月

ひろめ一条に励む

大教会活動項目

- 毎日布教 一日(二十七日)～二十八日(二十日)全教一斉にをいがけデー
- 1万枚リーフレット配布 1枚のリーフレットにたすかりを願って
- 布教推進講和 九月二十四日(日)大教会月次祭終了後

おぢば通信

七月のうごき

◎別席の誓い

久 樹

◎七月帰参者

九一名 名

(詰所調べ)

九月行事予定表

9日 母親講座(婦)

15日 布教実動日

19日 少年会例会

24日 大教会月次祭

布教推進講話

記念大会係員打ち合せ

女子青年例会

26日 本部月次祭

28～30日 全教 斉

にをいがけデー

宇仁女子青年
こかん様につづく会
11月26日(日)
おぢばにて
開催させていただきます

